

【全日制】平成29年度赤穂高等学校学校教育目標および評価項目(総合評価)

学 校 教 育 目 標		重 点 目 標 （ 中・長期的目標 ）						
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学校の特徴を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。		1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。						
		今 年 度 目 標		成果と課題(中間)				
		(1)全教職員が丁寧でわかりやすい授業を心がけ、生徒の主体的な学習意欲を喚起する教材を工夫する。到達目標や資格取得など具体的な学習目標を意識づけ、個々の進路実現のための学習活動を支援する。		授業評価の結果から、生徒が落ち着いて学習に取り組む姿勢はできているものの、授業全体としては満足している生徒は65%程度となっている。個々の生徒が資格取得等自らの目標を設定し、目標達成に向けて主体的に取り組めるよう、意欲を喚起する授業づくりを考えていく。				
		(2)生徒が自己理解・他者理解を深められるよう部活動や生徒会活動などを通じて人間性の育成を目指す。自己の確立と互いを尊重する人格の育成を通して、体罰やいじめのない安全・安心な学校をつくる。		部活動の加入率は95%以上であり、生徒会活動に参加する生徒も多く、課外活動の体験を通して積極性、協調性を身に付けている。また、さまざまな学校行事を通じて、集団の中での自己の役割を果たし、他者を尊重する態度が育っている。				
		(3)地域との連携に積極的に取り組み、地域理解や地域貢献の気質を育てる。地域に愛される学校と人材の育成を目指し、生徒・保護者・職員が力を合わせる。		商業科のプロジェクトや、文化系クラブの地域イベント出演など、地域へ生徒が出ていく機会を多くいただいている。それらを通じて生徒が地域を知り、また地域に知ってもらうことで、相互の良好な関係を築いていくよう、努力を重ねる。				
領域	対 象	評 価 項 目		評 価 の 観 点		改 善 策・向 上 策		
教育活動	教育課程	入試動向を見据えた教育課程の改訂を行う。		入試動向に関する情報を精査し、本校生徒の実情に合致した教育課程を編成できたか。			新テスト導入を見越した教育課程編成が必要である。高大接続の観点からも検討を進めている。	
	進路指導 キャリア教育	(1)主体的な進路選択と個に応じた進路実現を支援する。 (2)生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化を図る。		(1)支援を充実させることができたか。 (2)情報の共有化を図ることができたか。		○	就職、公務員、看護、大学の分野で面談を通して支援してきた。さらに計画的で効果的な指導を模索していく必要がある。進路選択の場面で安易な方向に流れないように指導を行なっていく。精選した情報を生徒・保護者に提供していく。	
		社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を推進する。		キャリア教育の推進ができたか。		○	2学年で就業体験を実施した。	
	人権平和教育	(1)憲法学習を通し、憲法に対する意識を高める。 (2)平和学習を行うことで戦争の悲惨さを知り、よりよい社会の実現を目指す生徒の育成を図る。		(1)人権平和教育について、生徒職員への啓発ができたか。 (2)実施時期、内容は適切であったか。 (3)各学年、係等との連携が図れたか。		○	5月の「憲法学習」として、「国境なき医師団」の活動について、リーフレットを活用して事前学習を実施した。10月の「平和人権学習」として、南季成医師を招いて国境なき医師団の一員としての活動について講演会を実施した。	
	図 書	(1)本に興味を持ち、自主的に読書ができる環境を整える。 (2)教科指導や進路指導などに役立つような支援をする。		(1)新着図書紹介や読書に関する様々な情報を図書館から発信できたか。 (2)生徒・職員が必要とする資料やサービスを提供できたか。		○	(1) 委員会活動をより活性化し、さらに来館者を増やすための企画の立案・運営に努める。 (2) 来館者が快適に過ごせるよう、基本的な館内環境の整備やサービスに心掛ける。	
	視 聴 覚	(1)芸術鑑賞(音楽鑑賞)を通じて、芸術に触れる姿勢や態度の育成を図る。 (2)情報モラル教育を推進する。		(1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられたか。 (2)教科(情報を中心とする)や特別活動を通じて、情報モラル教育を推進できたか。		○	(1)来年度も引き続き芸術鑑賞についてはマナーを身につける指導を行っていく。 (2)折りに触れ生徒に情報モラルの大切さを教えていくことを進めて行きたい。	
	生徒指導	(1)挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2)マナー・モラルの推進を図る。 (3)安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4)人権教育の推進を図る。		(1)身だしなみや挨拶に自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2)登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3)安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4)いじめ・暴力などの事案に毅然とした対応ができたか。		○	(1)一部の生徒にやや頭髪の乱れが見られたが、各学年でしっかり対応して改善され、学校全体として落ち着いた雰囲気であった。 (2)校外でのマナーは少しずつ改善された。今後も全校生徒に常に注意喚起していきたい。 (3)部室等での盗難被害があり、PTAの協力をいただき各部室に鍵BOXを設置した。安心安全な環境を更に作ってきたい。 (4)いじめ・暴力の問題は発生しなかったが、今後も気を引き締め注意していきたい。	
	教育相談	(1)様々な問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)いじめが起こらないような体制を目指す。 (3)学年会との連携を密にとり、生徒の状況把握をする。 (4)関係職員や保護者への支援体制を作る。		(1)①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②担任・学年会としっかり連携がとれたか。 (2)生徒への啓蒙活動や情報の収集ができたか。 (3)生徒の状況把握がしつかりできたか。 (4)スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。		○	スクールカウンセラーと連絡を取り合いながら、カウンセリングを希望する生徒、保護者に対しカウンセリングを行うことができた。カウンセリング後は関係職員と今後の対応を協議した。必要場合は担任を含めた係会を開き、職員会で全職員と情報を共有した。また、医療機関とも連携し、生徒が前向きに学校生活を送れるよう支援した。 向上策としては、教育相談係が研修会に参加し、支援のための具体的な情報を得ることが必要である。地域の支援団体を知り、多方面から生徒を見守る体制を整えていきたい。	
	生徒会	(1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり。 (3)地域やPTAとの連携。		(1)生徒会活動を通じて、生徒に成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率、および活動実態は良好であったか。 (3)地域やPTAとの交流の機会を積極的にもつことができたか。		○	(1) 部活動や委員会活動などを通じて、勉学にとらわれない多様な成長が見られた。 (2)クラブ活動は95.7%。各クラブとも精力的に活動した。 (3)みなこいワールドフェスタをはじめとする多くのボランティア参加や、文化祭や学校整備事業でのPTAとの協力ができた。	
	美 化	(1)校舎内外の美化。 (2)ゴミの分別を徹底する。		(1)清掃の手が行き届いている箇所とそうでない箇所の差が見られる。形だけの清掃にならないよう呼びかけたい。 (2)ゴミ分別講習や分別表掲示を行うことで周知を図った。特に部室でのゴミ分別を徹底させていきたい。		○	(1)委員による清掃見まわりの結果を効果的に利用する工夫が必要。より整理整頓された環境づくりを心がけさせたい。 (2)分別講習やゴミ回収時の指導で、正しい分別法の周知を図った。新入生に向けて行っている年度当初の分別講習を全学年で行い、更に分別を徹底させたい。	
保 健	(1)健康教育を充実させる。 (2)生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。		(1)健康維持増進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。		○	(1)生徒の成長を支援する講演を計画、実施できた。 (2)特に学校で管理すべき健康状態の生徒について、受診の時期が遅い生徒がいたので、できるだけ早期の受診を促す。		
学校運営	教 務	庶 務	(1)各分掌と連携を取り、諸行事・事業の充実を図る。 (2)授業環境の不具合などを整理し、充実した学びができる環境整備に努める。 (3)学習成果が向上できるように、学習環境や授業構成について課題の有無などを把握・改善する。		(1)前年度の反省を踏まえ企画の立案に改善があったか。行事後に反省点を確認し、次年度に向けた改善箇所の検討を行うことができたか。 (2)学習環境の充実と安全・安心な学校運営ができたか。		○	おおむね計画通りに遂行できた。台風による影響による休校についても時間回復を行い対応できた。来年度の計画上、一定枠の予備日の計画を行う必要がある。 教室整備については個々に対応していたが維持しているが、根本的な改修や入れ替え整備ができない。全校的な見地から計画的な予算取り、配分を行う必要がある。
			(1)学校行事や生徒の様子を各紙面、HPを通じて積極的に発信し、保護者、地域、中学生などへの理解推進に努める。 (2)情報資産の整備・管理のためにネットワーク内の情報を整理し、不要なデータ等の削除を行う。(漏洩や不正使用防止)		(1)発信した情報、公開した情報等において表現等が適切であったか。 (2)学校の業務に必要とされるデータの整備保存が行われているか。不必要な過年度のデータ等が保存されていないか。		○	日常の情報発信はできたが、部活動や特別活動などについての情報発信の工夫が必要 校内LANの設備更新が今年度末に行われる。今後の情勢に備え蓄積データの分析、整理が必要
		防 災	(1)生徒および職員の防災意識の高揚を図る。 (2)校内環境の危険箇所などを把握し、安全な学校づくりに努める。		(1)有事における対応について、生徒・職員が行う対処方法等の訓練や知識が浸透できたか。 (2)危険箇所等に関する実態を把握し対応できたか。		○	地震発生および火災発生観点から発災を想定し、安全を確保した後、グラウンドを避難場所として避難および人員確認の訓練を行った。また初期消火訓練として消火器による模範演技を行い、駒ヶ根消防署員の方による講話と消火器の取り扱い等の指導をいただいた。訓練と現実の違いは否めない。実際に発災した時の緊張は作れないが、日常的に防災、避難時の対応等、意識の高揚を図っていく。
	予 算 施 政	(1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。		(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。		○	減少する予算の中で、予算に応じ適正に執行が行われ、校内施設の整備・修理が安全面も含め効果的に行われるようにしていく。	
	学 校 運 営 検	学校運営上の問題等について検討し方向性を出す。		学校運営上の問題に対して迅速に対応できたか。		○	分掌の業務内容の見直し、体系の見直し等を行い、これからの業務、教育活動に合わせた組織づくりと運営を検討していく。保護者による学校評価アンケートで寄せられた意見も参考にしながら、多くの課題の中から優先順位を付けて具体的な取り組みを始める。	
	P T A	PTA活動の円滑な運営と多くの保護者の参加の促進		保護者と職員が協力して、生徒のための活動ができたか。		○	PTA行事を精選し、より多くの保護者の方々に参加いただけるような方策、一斉メール配信などの検討が必要。他専門から応援・協力を得て、各専門部に担当していただく内容の均衡化を図る。	
	同 窓 会	創立100周年記念事業(記念誌の編集等)を継続する。また、これからの同窓会のあり方について検討する。		創立100周年記念事業関連の記念誌の編集ができたか。学校と同窓会の橋渡しができたか。同窓会の今後の方向性について検討できたか。		○	記念誌の発刊をもって、100周年記念事業が無事終了した。多くの人の手を借りて赤穂高校の歴史に区切りをつけることができたが、新たな歴史の第一歩がすでに始まっている。同窓会とともに歩んでいきたい。	
学 校 評 議 員 会 運 営	学校評議員会を効果的に運営する。		学校評議員からの意見や要望を学校運営に生かすことができたか。		○	予定通り3回実施。1回目は授業参観、2回目は部活動参観と、それぞれの回で学校評議員に見ていただきたいポイントを作ることができた。引き続き学校からの報告内容の精選と時間配分を検討。評議員の皆様からのご意見等を踏まえ、学校運営、学校改善に引き続き取り組む。		
安 全 衛 生	教職員の健康管理の推進を図る。		全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。		○	勤務実態調査やストレスチェックの結果を職員全体で共有した。職場の実態を把握しながら、職員一人一人の健康管理や学校全体の安全衛生管理について、対応や呼びかけをした。		